

先生各位

受託中止項目および新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記のとおり、受託中止項目および新規検査項目のご案内をさせていただきます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

受託中止項目

《受託中止日》 平成 22 年 9 月 21 日（火）以降〔9 月 18 日まで受託〕

《中止項目》

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	代替項目
P.30	2400	TSH レセプター抗体 (TRA b)	TSH レセプター抗体 【検査コード 6800】 下記参照
	5458	TSH レセプター抗体定量 (TRA b 定量)	

《中止理由》 抗 TSH レセプターヒトモノクローナル抗体 (M22) を使用した、第三世代試薬への変更のため。

新規検査項目

《受託開始日》 平成 22 年 9 月 21 日（火）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	TSH レセプター抗体
検査コード	6800
検体量	血清 0.5 mL
容器・保存	A1 A2・冷蔵
実施料 (判断料)	250 点 (免疫)
所要日数	1 ~ 2 日
検査方法	ECLIA 法
基準値	2.0 IU/L (未治療バセドウ病における推奨カットオフ値)

保険収載名称：TSH レセプター抗体

保険注釈：TSH レセプター抗体及び TSH 刺激性レセプター抗体 (TSAb) を同時に行った場合は、いずれか一方のみ算定する。

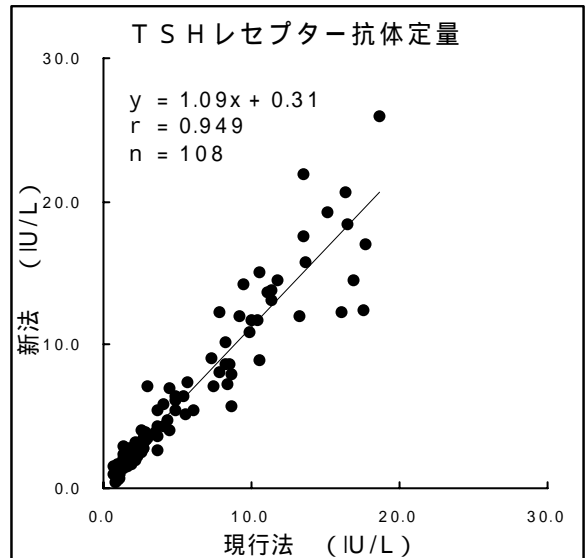
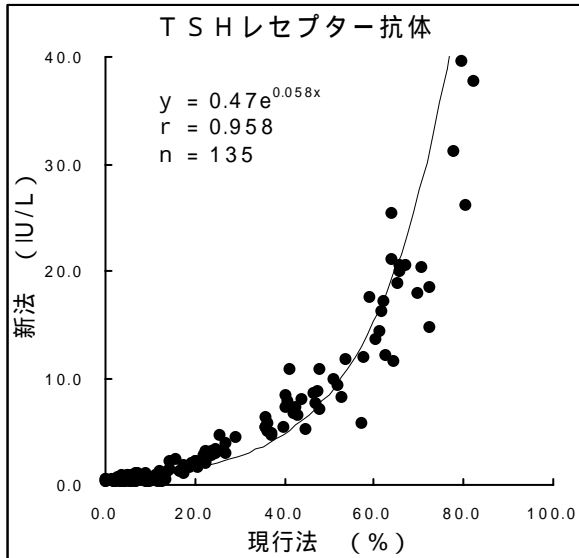
《 解 説 》

TSHレセプター抗体は、バセドウ病の診断や治療経過観察に有用とされています。また、甲状腺ホルモン検査とTSHレセプター抗体の測定による、バセドウ病と無痛性甲状腺炎の鑑別診断は重要です。このたび、抗TSHレセプターヒトモノクローナル抗体（M22）を用いた、感度・特異度共に優れたTSHレセプター抗体（第三世代）の測定を開始いたします。

《 注 意 》

新法のTSHレセプター抗体測定においては、溶血により検査値が上昇することが確認されています。そのため、溶血が認められた場合は参考値とさせていただきます。

《 相 関 図 》 【上記受託中止項目（現行法）と新規検査項目（新法）との相関】



全体 139例		現行法	
判定一致率 85.6%		陽性 10.1%以上	陰性 10.0%以下
新法	陽性 2.0IU/L以上	72	0
	陰性 2.0IU/L未満	20	47

全体 155例		現行法	
判定一致率 86.5%		陽性 1.0IU/L以上	陰性 1.0IU/L未満
新法	陽性 2.0IU/L以上	91	0
	陰性 2.0IU/L未満	21	43

[自社データ]